

さきたま

埼玉県鍼灸師会は厚生労働大臣免許保有者でつくる県内唯一の「はり師」及び「きゅう師」専門の公益社団法人です。

第192号

令和2年11月1日
発行

公益社団法人 埼玉県鍼灸師会
会長 河原保裕

事務所

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-3-1
第2大矢部ビル 2F東
TEL 048-645-0416
HPアドレス <http://saitama.harikyu.or.jp>
事務所メールアドレス saishinkai@gold.ocn.ne.jp
(広報委員長) 大谷尚子
(編集委員長) 阿部琴美

行事予定表

11月
15日(日) 第3回学術講習会
22日(日) 療養費等適正運用個別指導会
12月
27日(日) 療養費等適正運用個別指導会

(公社)埼玉県鍼灸師会 第2回 学術講習会報告

令和2年度第2回学術講習会が「伝統医療 百聞は一見に如かず」のテーマで、9月6日(日)にオンラインで開催されました。

「経絡治療の考え方と基本手技」の演題で 経絡治療学会 学術部員 いわなみ鍼灸院院長 橋本巖先生 に、「東方会方式の考え方と基本手技」の演題で 東方会副会長 夢恵堂院長 津田昌樹先生 に、「北辰会方式の考え方と基本手技」の演題で 藤本玄珠堂院長 (一社)北辰会代表理事 藤本新風先生 にご講演いただき、200名を超える先生にご参加いただきました。

講習会後には講師の先生方のご厚意により、急遽オンライン懇談会が開催されました。



橋本巖先生



橋本先生の実技



津田昌樹先生



津田先生の実技



藤本新風先生



藤本先生の実技

特別セミナー・令和2年度 第3回 学術講習会のお知らせ

日時: 令和2年11月15日(日)
オンライン特別セミナー
午前10時30分~12時(入場開始 午前10時~)
第3回学術講習会
午後1時~午後5時(受付開始 午後0時30分~)
会場: 埼玉医科大学 かわごえクリニック
(埼玉県川越市脇田本町21-7)及びオンライン

オンライン特別セミナー

「経営戦略はEBMから」臨床研究が経営に結びつく
講師 まり鍼灸院院長 森之宮医療大学
非常勤講師 中村真理先生
参加費: 会員・育成学生 無料、
一般 2,000円、学生 1,000円



学術講習会(会場+オンライン)

※会場は新型コロナ感染対策として最大40名定員と致します
(Googleフォーム申し込み先着順)

テーマ: 「女性目線の鍼灸治療」

講演: 「小児はりの実際」

講師 まり鍼灸院院長 森之宮医療大学
非常勤講師 中村真理先生

「木下晴都先生から学んだこと(交叉刺・傍神経刺)」

講師 大谷鍼灸院院長 埼玉県鍼灸師会理事
広報委員長 大谷尚子先生

「痛くない鍼の打ち方」

講師 杏林堂院長代行 北川美千代先生

参加費: 埼玉県鍼灸師会会員 無料、育成学生 無料、
埼玉県鍼灸師会会員の従業員 3,000円、
埼玉鍼灸学会会員 2,000円、
日鍼会 関東信越ブロック会員 2,000円、
日本鍼灸師会会員 3,000円、
全日本鍼灸学会会員 3,000円、
一般 5,000円、一般学生 1,000円

振込先: 埼玉りそな銀行 大宮支店

普通 6256290 公益社団法人埼玉県鍼灸師会

参加申込: Googleフォームから参加申込みをしてください。
ネットでの申し込みができない先生は 埼玉鍼灸会事務所
(TEL048-645-0416)にご連絡ください。
申し込み締め切り 11月13日(金)

連絡先: 埼玉県鍼灸師会学術委員会事務局

担当 菊池 友和、小峰 拓也

高橋 雅明、堀部 豪

TEL&FAX: 049-276-2108

E-mail: saishinkaihari@gmail.com



※本講習会は(財)東洋療法研修試験財団生涯教育研修制度認定、
(公社)全日本鍼灸学会認定C講座の講習会です。

次回の講習会は令和3年1月24日(日)の開催を予定しています。
詳細は次号及び埼玉鍼灸ホームページでお知らせ致します。

病気について学ぼう

冬に流行する病気

新型コロナウイルス流行の終息はまだ先になりそうですが、新型コロナウイルスだけでなく、冬に流行する病気も予防しましょう。

ノロウイルス感染症

■流行のピーク 12月

■症状 吐き気、おう吐、下痢 数時間から数日で治まる

■感染経路

病原体に汚染された食品などから感染する「経口感染」
また、おう吐物や下痢便に対して適切な処理をしない場合、
その場所に残留しているノロウイルスがホコリとともに舞い上がり、その日だけでなく、数日を経ても、その場所を歩いただけの人がそのノロウイルスを吸い込んで感染してしまうことがある。

■ワクチン等

予防接種のワクチンも抗ウイルス薬も実用化しているものはない。
整腸剤などの対症療法

■予防法

ノロウイルスに関係していると考えられるおう吐物や下痢便を発見した場合は、マスク・ゴム手袋をして、しっかりとペーパータオル等で拭き取り、取り除いたあとの場所を塩素系の消毒剤でしっかりと消毒することが大切。

RSウイルス感染症

■症状

咳(多くは軽い症状) 重症になると呼吸困難
生後数週間から数か月の赤ちゃんがRSウイルスに感染すると1~3%が重症化し気管支炎、肺炎などを起こすので、特に注意が必要。

■感染経路 飛沫感染 接触感染

■ワクチン等

ワクチンは実用化されていない。特効薬なし。症状を和らげる対症療法。

■予防法 手洗い 咳エチケット

溶連菌感染症(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)

■特徴

溶連菌感染症は、学童期の小児に最も多く、3歳以下や成人では典型的な症状が出ることは少ない。

■症状

38度以上の発熱、全身倦怠感、喉の痛み、しばしばおう吐を伴う。舌にイチゴのようなぶつぶつができる「イチゴ舌」の症状が現れる。一部の人には発疹が出る。まれに重症化し、全身に赤い発疹が広がる「猩紅熱(しょうこうねつ)」になることがある。

■感染経路 飛沫感染 接触感染

■ワクチン 実用化されていない

■予防法 手洗い、咳エチケットなど。

インフルエンザ

■症状

発熱(38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの出現に続き、鼻水・咳などの呼吸器症状がでる。通常は1週間前後の経過で軽快。

■感染経路 飛沫感染 接触感染

■ワクチン

あり。予防接種を受けることで、発症率、重症化率の低減につながると言われている。予防接種を受けてから抗体ができるまで約2週間かかり、効果は5か月間持続する。

■予防法

予防接種を受けることが有効。手洗い、咳エチケットなど。

※「飛沫感染」とは発症者の咳やくしゃみなどからの感染。
「接触感染」とは細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる感染。

旬の食べ物を食べて元気になろう!



長くて暑い夏が終わったと思えば、急に涼しくなって…あっという間にお鍋の恋しい季節の到来です!そんなお鍋を彩りよくしてくれる「春菊(しゅんぎく)」が今回の旬の食べ物です。春菊には春の文字がありますが、11月から2月頃にかけての冬が旬の野菜です。春になると葉の部分は固く苦味が増してしましますが、その頃に黄色い小さな花が咲くので春の菊と呼ばれるそうです。

春菊に多く含まれる栄養素は何といってもβカロテンとビタミンC! βカロテンは抗酸化作用があり、体の抵抗力を高めて免疫力をアップします。ビタミンCは皮膚の状態を良くしたり、風邪予防に欠かせない栄養素です。どちらもウイルス性の風邪が流行る今の時期に食べるにはもってこいです!

春菊といえばお鍋に入れて食べるイメージが強いですが、実は生のままサラダでも食べられます。春菊特有の苦味が苦手…という方もいるかもしれませんが、加熱することであの苦味は強くなります。なので、お鍋で食べる場合もグツグツ煮ないで、最後にサッと入れて火を止める程度が美味しく食べるコツです。更に水溶性のビタミンを多く含むので、お鍋の場合はスープまでしっかり飲むと余さず栄養を摂ることができます。

沢山野菜が食べられるお鍋に旬の春菊をサッと入れて、是非元気に冬を乗り越えましょう!

協賛各社
(順不同)

医道の日本社・ヨシダ商事・ホシノ医療機器株式会社・アフラック募集代理店 株式会社むらた・セイリン株式会社・昭和エンタープライズ・ソーシンメディック
サンケイワーク